

1) 事業概要

令和4年度からデジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）により、恋人の聖地の認定を受けている市町村（泉佐野市はじめ全14市町）の連携により移住・定住、関係人口拡大に向けた事業を実施しています。

当該事業は、地域再生法に基づく地域再生計画を策定し、「恋人の聖地」という繋がりと知名度を活かして、14市町が事業を展開しています。

2) 計画概要等

①地域再生計画の名称

「恋人の聖地」広域市町村連携による関係人口拡大に向けたバーチャルコンパクトシティ事業

②計画期間 令和4年度～令和8年度

③事業内容（各市町共通）

1. バーチャルコンパクトシティ協働基盤事業
参加14市町がweb上で一つの町“仮想シティ”として一括したPRを行う。
2. 観光交流促進強化連携事業
デジタルコンテンツ化、移住定住を目的とした観光情報発信。
3. 若者・子育て世代交流促進事業
人の交流の場づくり都市と地元の交流。（神石高原町は申請なし）
4. 関係人口の創出拡大事業
大都市との交流人口、関係人口の創出、中間組織の育成を目指した民間連携事業として実施。
5. 市町村の魅力強化・デジタル推進ハード事業
デジタルサイネージ等のハード整備、SNSの活用による修景整備の実施。
※令和4年度で終了

④令和5年度 実施内容

【事業費 50,538千円 交付確定額 24,485千円】

1. バーチャルコンパクトシティ協働基盤事業 5,000千円
2. 観光交流促進強化連携事業 44,053千円
・四仙人衆着ぐるみ作成等
3. 若者・子育て世代交流促進事業 ※神石高原町は申請なし
4. 関係人口の創出拡大事業 1,485千円
5. 市町村の魅力強化・デジタル推進ハード事業 ※令和4年度で終了

3) 評価検証

設定KPI

情報コンテンツ閲覧数 6,500回（令和元年度）→ 13,000回（令和6年度）

令和5年度 9,829回 達成率 75.6%

「神石高原 四仙人衆」着ぐるみ完成披露の様子

